

東邦大学医学部微生物・感染症学講座、
東邦大学医療センター大森病院感染管理部、同先端健康解析センターと
産業用防じんマスク・N95マスクメーカーの興研が共同開発

検体採取用陰圧ブース

「LAMIKOACH Np (Negative pressure)」



ブース内の空気を素早く換気し、周囲への感染リスクを低減

- プッシュプル換気の応用でマイクロ飛沫を素早く除去
- $0.15 \mu\text{m}$ の微粒子を99.99999%捕集
- ブース内の陰圧状態をランプで表示
- 内部へのアプローチが容易で、補助員なしでもスムーズに作業できる

「LAMIKOACH Np」

患者から飛散するマイクロ飛沫を外部に拡散させないために、医療現場では陰圧ブース等による対策が行われていますが、換気効率が悪い場合は、マイクロ飛沫が内部に残留したり、出入りの際に漏れ出ることによる周辺への感染リスクがあります。「LAMIKOACH Np」は、ブース内の空気をクリーン化して素早く換気できる検体採取用陰圧ブースです。

■ プッシュプル気流の応用で、マイクロ飛沫を素早く除去

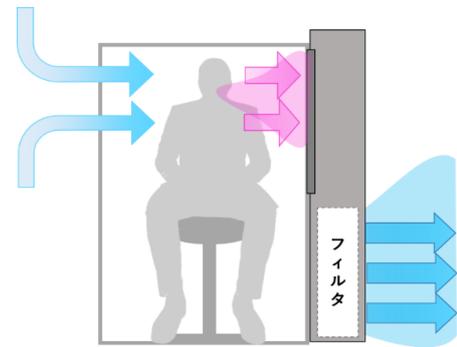
プッシュプル型換気装置の気流技術を応用した気流により、ブースに取り入れた空気は患者の呼吸域に向かって流れ、吸込み面へと搬送されます。この気流によって、患者の呼気に含まれるマイクロ飛沫がブース内に広がることなく素早く除去されるため、ブース内に長く残留したり、出入りする際に外に漏れ出たりするリスクを低減できます。



陰圧化され、内部へ吸い込まれる気流

■ 0.15 μmの微粒子を99.99999%捕集

当社独自の超高性能フィルタ「FERENA」と「ELE-PRE」を搭載することで、0.15 μmの微粒子を99.99999%捕集できます。一般的なHEPAフィルタ(0.3 μmの粒子に対する捕集効率99.97%)と比べ、圧倒的に高い過性能を有しています。



気流イメージ図

■ 陰圧状態をランプで表示

ブース内を、米国疾病予防管理センター(CDC)の感染対策ガイドラインにおいて陰圧室で推奨される差圧2.5パスカル程度の陰圧にすることができます。本体部に陰圧状態表示ランプを搭載しており、誰でも一目で状態を確認できます。

■ 内部へのアプローチが容易で、補助員なしでも素早く作業ができる

正面のスライド式開口から、容易にブース内へアプローチできます。補助員がいなくても、一人でスムーズに作業を行えます。陰圧化されているため、マイクロ飛沫が外へ漏れ出るリスクを低減できます。



内部へアプローチしやすいスライド式開口

本体部



ブース部

「LAMIKOACH Np」仕様

「LAMIKOACH Np」仕様		
本体部	材質	主にSUS304
	寸法(転倒防止板除く)	W748mm × D353mm × H1611mm
	吸込開口面寸法	W645mm × H700mm
	重量	約68kg
	フィルタろ過率	99.99999% (対象粒径0.15 μm以上)
ブース部	材質(支柱)	主にアルミ
	材質(壁)	硬質塩ビ
全体	重量	約80kg
	外形寸法(展開時)	W773mm × D1265mm × H1611mm
	外形寸法(収納時)	W748mm × D454mm × H1611mm

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

興研株式会社

環境エンジニアリングディビジョン

このカタログに記載されている商品の仕様及びデザインは改良等のため予告なく変更することがあります。

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地
TEL.03(5276)1931 FAX.03(3265)1976

www.koken-ltd.co.jp/koach

陰圧ブース LAMIKOACH Np

検索

代理店 (商品に関するお見積り・お問い合わせはこちらまで)

0853KK1-21.02(051)

